

令和 3 年 第 2 回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和 3 年 2 月 12 日（金）
- 2 招集場所 大河原町役場 第 1 会議室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長
- 4 説明のため出席した者
教育総務課長 佐藤勝弘、生涯学習課長 八島良隆、学校教育専門監 山家一博
- 5 開 会 午後 2 時

6 令和 3 年第 1 回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。
一盃森委員、小山委員 署名。

7 教育長報告

（1）一般事務報告について

なし

（2）専決事務報告

なし

8 議 事

議案第 1 号 県費負担職員の異動等の内申について（非公開）

議案第 2 号 令和 3 年度大河原町教育重点施策について

教育総務課長、生涯学習課長から説明する。

小 山 委 員	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談件数はどれくらいか。
山 家 専 門 監	大規模校は週 1 回、月 3，4 回で、月 20 件以上の相談。小規模校は隔週で、件数は少ない。
鈴 木 教 育 長	学校によって差がある。
舟 山 委 員	中学校へのトイレ清掃業者は毎日か。トイレ掃除をするのも意味があるのではないか。
教育総務課長	児童にさせないわけではないが、感染症対策がある。

鈴木教育長	掃除をさせる意義とコロナ感染症対策とを現状の中で天秤にかけて、現状では、業者委託を選ぶ。
丹羽委員	問題を抱えた子で相談に来ない親はどうするのか。はたらく館の常設展は、非常口をつけたら展示が可能か。民族資料室などもあるので、大河原町には文化人もいるし、昆虫もあるし将来的に複合的なことを検討していかなくてはいけないのではないか。
山家専門監	相談に来ない親にはなんどもアプローチを積み重ねて、保護者に寄り添うことで話し合いの場に徐々に繋がっている。
生涯学習課	はたらく館は、年数も経ているので増築が難しい、消防設備は600～800万円かかる。生涯学習課で事業を起こす際の倉庫的な利用になる。
一盃森委員	個別最適化の施策も進んでいるが、成人式でも、外国籍の方多く見るようになってきている。小中学生に、日本語を母語にしない子はどのくらいいるのか。そういう子供への学習の保障をどれくらいしているか、していく必要があるのではないか。
鈴木教育長	現在5名いる。今後も多くなっていくと思うので、日本語指導、生活指導が必要になっていくと思う。県では指導のための加配教員を付けてくれる。国も手引き書があるので、外国籍の子供への対応方法を学校にも示していきたい。
鈴木教育長	(委員全員に諮って) 可決する。

議案第3号 大河原町地域学校協働本部員の委嘱について

生涯学習課長から説明する。

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第4号 大河原町学校運営協議会規則の施行について

教育総務課長から説明する。

一盃森委員 | 今回は、南小学校で設置になるが、今後、5校の運営協議会となるのか。学校ごとの運営協議会になるということでよいか。

教育総務課長 | この規則は、すべての学校に適用する。

鈴木教育長 | 第3条に所管する学校ごとに運営協議会を置くとなっており、学校ごとに置くことになる。

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

9 その他

(1) 教育長報告

1 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最

適な学びと、協働的な学びの実現～（答申案）〔R3 中央教育審議会〕

中央教育審議会答申の中の総論の資料。個別最適化と協働的な学びを一体的、ハイブリット的に扱うことが令和の日本型教育となる。これからの学校の姿が示されている。

2 新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について（文部科学省）

文科省の新型コロナ関連のQ & A。卒業式、入学式、体育の授業はこまめな換気、参加人数、式典の短縮等。修学旅行は、かけがえのない大事な活動。同居する家族等の健康観察も徹底したうえで参加を取りやめていただくなどの配慮をお願いしたいが、今年実施し学校にノウハウがあるので、有効な手立てで計画がされていくのではないかな。運動会は3密を避ける必要があるが、今年分散して行っていることをで踏まえて実施していくことになるのではないかな。体育の授業は、可能な限り外で。軽度な運動の際はマスク着用。運動不足が懸念されるので、小学校は1日30分程度、中高生は30～60分程度を目安に行うとよい。

3 保護者対応

(1)『学校弁護士』（神内聡）

モンスターペアレントは類別できる。①明らかに不法なクレームをつける保護者②内容や態様が不法でないが、理不尽なもの③教師に過失があるのは事実だが、不寛容で過失を一切許そうとしない保護者④教育観の相違に基づく場合。スクールロイヤー制度の中にも、弁護士の中にも子供側につく弁護士と、学校側につく弁護士と真っ二つに分かれる。

学校の先生は集団、保護者は我が子のことだけになるので、合理性は重ならない。プラオリティの付け方も教師によって違ってくる。

スクールロイヤーは、信頼関係が破綻したときどんな助言をするか。一つ目は、学校に今後どのような経過をたどるのか見立てを示す。学校は毅然とした態度で。二つ目は、保護者に考えさせる。3つ目は弁護士に相談してはどうかと投げかける。こうした手段が功を奏さない場合も少なくない。

4 学力向上

(1)「算数科における学び合い」（笠井健一）

子供が説明する意味。個人解決が終わった段階で、ペアで互いに自分の考えを説明させ合うとき、相手がわかるように説明できることが大切。斎藤孝さんの「頭のよさは説明力」と相通じる。

(2)「数直線図」を使える算数の道具とするために（山本良和）

数直線図は、3.4年生では教師が子供にみせて問題の構造を説明し、5年生以上は自分でかくもの。数直線のかき方が5年生の教科書にのっている。かけるようになるには5年生からでよい。

(3) 数学的な見方・考え方の働かせ方を学ぶ授業へ（市川啓）

数直線の扱い方も先生方に踏まえて欲しい。来年度研修の講師として来ていただく。

(4)「習熟度別編制で学力向上」（神戸市立桃山中）

学校の立て直しは、生徒の幸福（学力向上）を実現すること。

(5) 令和3年度教師の指導力向上研修計画

今年度 14 回指導主事訪問を行った。来年度はプラスして専門性を取り入れて楽しい授業を作って欲しい。大学教授等を招聘して授業研修を実施し、質的なものを高めていきたい。

(6)「資質・能力を育む受動づくりとカリキュラム・マネジメント」(石井英真)

宮城教育大学付属小の公開研究会の石井英真先生の資料。校内研修の事前検討会、事後検討会のあり方を指摘している。

(7) 令和 2 年度大河原町標準学力調査 6 月及び 12 月の「達成率」状況

達成率は、6 月と比べて 12 月がアップしたクラスをみると 74%。前年度と同じだが、中学校が増えて、小学校が減ってきている。中学校が伸びている。29 年度は全国値を超えたところが多かったが、だんだん落ちてきている。今までは小学校 3 年生になると全国値を超えていたのに落ちてきている。小学校も中学校も全国平均値を超えるが理想。

(8) 平成 29 年度～令和 2 年度大河原町標準学力調査 6 月及び 12 月の「正答率」状況

5 コミュニティ・スクールについて

「コミュニティ・スクールのつくり方」(文科省 R2・10)

コミュニティ・スクールを簡単に言うと地域住民の意向を学校経営に反映すること。

6 人事について(予定)

新聞発表 3 月 24 日夕刊。25 日朝刊。

4/1 新任教員は、各学校の校長から辞令を貰う。服務宣誓式 4/1 午後から行われる。

7 令和 2 年度授業参観日における保護者参観状況 ※コロナ禍

参加者が少なかった。

5 その他

(1) 金ヶ瀬中学校全学級道徳授業の日

(2) 大河原小学校全学級道徳授業の日

(3) 大河原小学校指定校訪問授業

(4) 大河原中学校「災害用備蓄品の整理」

(5) 金ヶ瀬小学校指導主事 D 訪問(体育)

(6) 大河原中学校「立志式」

(7) 金ヶ瀬小学校外国語の授業(「英単語ノート」活用)

丹 羽 委 員 先生方は時間が決まっているので、答えに早く導きたいことが優先されるのでは。良い間違い、良い質問がでたときにどのように拾ってくれるのか。やる気をださせてくれるのか。

一 盃 森 委 員 学力調査の問題そのものが変わってきているのか。問題文を読み取れないとすれば、学校の指導が追いついていないのではないのか。学習指導要領の改訂が 10 年に 1 回だったが、そのサイクルでは世の中の流れについていけない時代がきたと思った。G I G A スクール構想の中で I C T を活用して情報を取れる世の中になっている。A I で脳科学で教育の世界も変わってきている。公立の学校の中でも、新しい取組、教材研究をしていかないといけないのではないのか。

鈴木教育長	大学教授の研修もこういったことを取り入れて、形式的にならない、先生方や、子ども達が楽しくなる授業につながればと思う。
丹羽委員	大河原小学校が指定研究になっているが、指導案を変えたことが大事なこと。これまでの、指導案にとらわれなくて良いので、対話的で深い学びにつながっていく授業はどうあるべきかを考えて欲しい。子供の立場にたって、分析もして欲しい。
舟山委員	平成30年度からは同じ問題が続いている。一部改訂はされているが、ほぼ同じ。
小山委員	テストの内容は変わらないなら、これをやれば、必ず点数が取れる等の指導ができれば、よいのではないのか。自分が一番感動した話をするなど、先生も工夫が必要。満点屋方式はどうですか。
舟山委員	数学は暗記と言う人もいる。ニュースにもいっぱい外国語がでている。調べて自分なりに解釈が必要。 テストの問題も、これまで暗記で対応できていたのが、本質を理解していないと解けない問題になっている。自分で教科を好きになって自分のものにしていかないといけない。暗記で対応できない問題が増えてきた。 教科書だけでなく生活と結びつけて、数学を学ぶことも必要。

(2)課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

令和3年3月の行事予定について説明する。

山家専門監

大河原町標準学力調査について説明する。

舟山委員	経年の比較がわかりやすい。最近の本の量が減っている。 常日頃から長い文章に触れる機会が欲しい。
山家専門監	昨年度は全体的に冊数が増えてきたが、今年度は昨年度に比べると減っている学校もある。
一盃森委員	先生方にも本を読んで欲しい。教員のなり手が少ない。3倍を切ると先生の質が落ちる。自分の関係のことで精一杯。先生の資質も大切。今の先生の中には先輩の話を聴かない、本を読まない先生もいる。
丹羽委員	先生の不祥事が多い。心と体の健康が大切と思う。ICT活用は大河原はどのようになっているのか。
教育総務課長	ハード整備が終わるところだが、ICT支援員を配置し、セキュリティポリシーなど学校と総合的に協議をしているところ。
蜂谷	タブレットはやっと週末に納品される。タブレットの管理から、ID、パスワードの管理、家庭での管理等調整しているところ。

1 0 次回教育委員会の開催日程について

次回は令和 3 年 3 月 24 日（水）午後 2 時から開会を開催する。

1 1 閉会宣言 午後 4 時 20 分

令和 3 年 3 月 24 日

署名委員

署名委員